

上杉謙信公旗揚げの地

栃尾城跡散策マップ



越後・長岡

栃尾



栃尾城

謙信公が旗揚げした由緒ある山城

栃尾市街地の西に、天高く城型のシルエットをくっきりと描いているのが、栃尾城（県指定史跡）が築かれている鶴城山（227メートル）である。本丸の平坦地と空堀に落ちる姿が鮮やかに眺望され、守門岳や刈谷田川とともに栃尾の象徴となっている。上杉謙信が春日山城に上るまでの青年期を過ごした城郭である。栃尾は交通の要所であり、その要の位置にあるのが栃尾城である。別名鶴舞城とも呼ばれ、鶴が羽根を広げたようなU字型の険しい山稜に築かれ、その規模は圧倒的に大きく、抜群の威容を誇る。そして、兵農分離と城下町という、当時としては画期的な近代的城郭体制を作っていた。

上杉謙信



希代の英雄『義』の武将

わずか14歳で中越の郡司（長官）として栃尾に赴任、天空にそびえる名城、栃尾城に入城した。

生涯70余度の戦をなした国最強の武将である。聖将、越後の虎、麒麟児また『義』の武将として知られる謙信公が、その青年時代をこの城で過ごし瑞麟寺で学び成長していった。19歳で春日山城へのぼり21歳で守護となり、32歳で関八州を裁量する関東管領となり、將軍足利義輝に次ぐ地位に上る。

謙信の功績は、何と云っても、越後に不安のない平和な社会を築いたことである。戦国の時代人々の最も欲したのは「心の安定」だった。戦国で唯一、平和な国を実現し生涯一度も越後の侵入を許さなかった。



栃尾城の歴史

貞治2年（1363）上杉憲朝の家臣、大関兵部、栃尾城主となる
栃尾城を舞鶴型に縄張りする
麓の大野に家臣団の館を建立

応仁元年（1467）応仁の乱起こる。この乱以降、栃尾城は古志長尾氏の重要拠点として重きをなす

永正15年（1518）栃尾・宮沢に瑞麟寺が建立される

享祿3年（1530）上杉謙信誕生（幼名虎千代）

天文12年（1543）謙信（景虎14歳）、兄晴景の命で栃尾城に入る
瑞麟寺において修行「義」の心見出す

天文13年（1544）謙信、守門神社に名野木の地（22石）を寄進

天文14年（1545）謙信、兄晴景に反抗した黒田秀忠討伐に出陣、秀忠降参

天文15年（1546）謙信、再び背いた黒田秀忠を弥彦黒滝城に攻め滅ぼす

天文17年（1548）謙信、栃尾から春日山城に移り、長尾家を継ぐ

天文20年（1551）謙信、常安寺に寺領を寄進する

永祿3年（1560）渡辺将監綱ら栃尾衆、血判を栃尾城將に提出、忠誠を誓う

永祿4年（1561）謙信、関東管領に就任

天正6年（1578）謙信、春日山城で急死

天正8年（1580）上杉景勝、栃尾城を総攻撃、栃尾城陥落、栃尾城主本庄清七郎会津に逃れる
景勝栃尾城の仕置きをなす

慶長3年（1598）上杉家、会津に移封
堀秀治が代わって越後守護に
家臣の神子田長門守、栃尾7千石を給されて栃尾城に入城

慶長15年（1610）栃尾城廃城となる

元和6年（1620）栃尾郷1万石が長岡藩、牧野領となる

市街からのアクセス

●JR長岡駅

- JR新潟駅からJR長岡駅まで 新幹線で約20分
- JR東京駅からJR長岡駅まで 新幹線で約100分
- 栃尾車庫前行バス55分、中央公園前下車
- 自家用車を使用の場合 約25分

●関越自動車道

- 長岡ICから約40分
- 中之島見附ICから約40分
- 国道8号を長岡方面へ向かい
- 川崎ICから国道351号を走れば栃尾に到着。

お問合せ

とちぎ 栃尾観光協会 TEL(0258)51-1195 FAX(0258)51-1190
〒940-0233 新潟県長岡市栃尾宮沢1764番地 http://www.tochiokankou.jp/

発行

栃尾観光ガイドクラブ

上杉謙信公旗揚げの城 栃尾城跡の散策

長い山登りは苦手な方に… らくらくコース

本丸に直接登れる、脚力に自信のない方や、高齢者向けのコースです。
(駐車場より約13分)



栃尾城歴史ロマン体感… じっくりコース

栃尾城全体をじっくり見学し、城の縄張りの凄さを勉強できるコースです。
(駐車場より約40分)



脚力に自信あるなら！ 健脚コース

岩ノ鼻橋側から本丸を目掛けて、胴抜沢に沿って急な階段と坂道を登り本丸へ行くコースです。
(駐車場より約25分)



体力に自信あるなら！ 神明社コース

神明社から急な階段を登って、馬場にでるコースです。

